

NEWS RELEASE

報道資料
2020年2月13日
(日本時間)

アプライド マテリアルズ 2020 年度第 1 四半期の決算を発表

- 四半期売上高: 41 億 6,000 万ドル、前年同期比 11%増
- 1 株当たり利益: GAAP ベースで 0.96ドル(前年同期比 20%増)、非 GAAP ベースで 0.98ドル(前年同期比 21%増)
- 株主還元: 3 億 9,200 万ドル

アプライド マテリアルズ(Applied Materials, Inc., Nasdaq:AMAT、本社:米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO ゲイリー・E・ディッカーソン)は 2 月 12 日(現地時間)、2020 年度第 1 四半期(期末:2020 年 1 月 26 日)の決算を発表しました。

第 1 四半期の業績

第 1 四半期の売上高は 41 億 6,000 万ドルでした。GAAP ベースでは、売上総利益率 44.6%、営業利益 10 億 4,000 万ドル(売上高の 25.0%)、1 株当たり利益 0.96ドルでした。

非 GAAP ベースでは、売上総利益率 44.9%、営業利益 10 億 7,000 万ドル(売上高の 25.7%)、1 株当たり利益 0.98ドルでした。

アプライド マテリアルズは 3 億 9,200 万ドルを株主へ還元しました。内訳は、株式買い戻しが 2 億ドル、配当金が 1 億 9,200 万ドルです。

社長兼 CEO のゲイリー・ディッカーソンは次のように述べています。「第 1 四半期の利益は当社予測の上端を超え、2020 年は力強いスタートを切ることができました。AI・ビッグデータ時代を迎え、当社ではお客様の成功を加速させるようなユニークなソリューションを提供できる強みを生かし、今年は半導体ビジネスで 2 桁の高い成長を達成できると予測しています」

四半期業績概要

	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減
(単位：100 万、1 株当たり数字と比率を除く)			
売上高	\$ 4,162	\$ 3,753	11%
売上総利益率	44.6 %	44.4 %	0.2 ポイント
営業利益率	25.0 %	24.2 %	0.8 ポイント
純利益	\$ 892	\$ 771	16%
希薄化後 1 株当たり利益 (EPS)	\$ 0.96	\$ 0.80	20%
非 GAAP ベースの業績			
非 GAAP ベースの売上総利益率	44.9 %	44.6 %	0.3 ポイント
非 GAAP ベースの営業利益率	25.7 %	24.6 %	1.1 ポイント
非 GAAP ベースの純利益	\$ 904	\$ 779	16%
非 GAAP ベースの希薄化後 EPS	\$ 0.98	\$ 0.81	21%

本リリース末尾の財務諸表中に「GAAP と非 GAAP データの差異調整表」を掲載しています。このほか、後出の「非 GAAP ベースの財務指標の利用について」の項もご参照ください。

事業展望

2020 年度第 2 四半期の売上高見通しは、43 億 4,000 万ドル±2 億ドルです。非 GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益は、0.98ドル～1.10ドルの範囲を予想しています。

非 GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益の予測では、完了した買収に関する既知の費用 1 株当たり 0.01ドルを除外しており、また株式ベース報酬の基準化された税控除額 1 株当たり 0.01ドルと無形資産のグループ会社間移転に関する所得税控除額 1 株当たり 0.03ドルを含めていますが、現時点で未知の項目（買収に関連する追加費用やその他の営業外項目および特殊項目など）、その他の税関連項目などについては、本来的に不確実性が高く、過大な努力を払わない限り予測が難しいため反映していません。

第1四半期のセグメント別業績

<u>半導体システムズ</u>	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期
	(単位：100万、比率を除く)	
売上高	\$ 2,814	\$ 2,268
ファウンドリー、ロジックその他	68 %	44 %
DRAM	15 %	21 %
フラッシュ	17 %	35 %
営業利益	915	631
営業利益率	32.5 %	27.8 %
非 GAAP ベースの業績		
非GAAP ベースの営業利益	\$ 925	\$ 642
非GAAP ベースの営業利益率	32.9 %	28.3 %
<u>アプライド グローバル サービス</u>	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期
	(単位：100万、比率を除く)	
売上高	\$ 997	\$ 962
営業利益	278	285
営業利益率	27.9 %	29.6 %
非 GAAP ベースの業績		
非GAAP ベースの営業利益	\$ 278	\$ 285
非GAAP ベースの営業利益率	27.9 %	29.6 %
<u>ディスプレイ・アジェイセント マーケット</u>	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期
	(単位：100万、比率を除く)	
売上高	\$ 332	\$ 507
営業利益	38	115
営業利益率	11.4 %	22.7 %
非 GAAP ベースの業績		
非GAAP ベースの営業利益	\$ 41	\$ 118
非GAAP ベースの営業利益率	12.3 %	23.3 %

非 GAAP ベースの財務指標の利用について

アプライド マテリアルズは、一部の項目について投資家の皆様に非 GAAP ベースの業績もお伝えしています。これは一部のコスト、経費、または損益項目の影響を除外するよう調整したもので、この中には統合・買収に関連する一部の項目、リストラクチャリング費用とそれに関連した調整、資産減損または投資、戦略的投資の売却損益、株式ベース報酬の税効果、一部の法人税項目やその他の個別調整などが含まれます。さらに非 GAAP ベースの業績では、米税制改正に伴う個別の法人税費用項目の予想額が除外されています。こうした非 GAAP ベースの数値と、GAAP (一般会計原則) に基づいて算出・表示された最も直接比較し得る財務数値との差異調整方法は、本リリースの財務諸表中に示されています。

当社の経営陣は、営業成績や財務成績の評価と計画立案のため、ならびに役員報酬プログラムの評価基準として、非 GAAP ベースの業績を用いています。こうした財務指標は、当社の業績全般に対する理解を助け、投資家の皆様が経営陣と同じ視点に立って当社の事業を検討することを可能にするとともに、当社の継続的な事業成果とは性格が異なると判断される項目を除外することで、過去の会計期と当期の業績を一貫性のある形で比較することが容易になると考えています。これらの財務指標は一般会計原則として受け入れられている GAAP に沿ったものではなく、他社の用いる非 GAAP ベースの会計手法とは異なる場合があります。また当社の会計報告における財務業績に重大な影響を及ぼし得る一部項目が除外される場合もあるため、非 GAAP ベースの財務指標は限定的に利用するものとします。この追加情報は独立して考慮されることを意図したのではなく、この提示をもって直接比較可能な GAAP に基づく業績データを代替するものではありません。

将来予想に関する記述について

本プレスリリースには、当社の事業や市場の成長予測とトレンド、業界見通しと需要拡大要因、テクノロジーの遷移、当社の事業・財務成績および市場シェア、資本配分、投資・成長戦略、新製品とテクノロジーの開発、2020 年度第 2 四半期以降の事業展望、コロナウィルスの流行が当社の業務や財務成績に及ぼす影響など、将来の見通しに関する記述や、過去の事実には該当しない記述が含まれています。こうした記述やその前提をなす仮定はリスクや不確定要素に左右され、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。こうした記述が明示ないし黙示する帰結と実際の結果の間に大きな違いをもたらし得る要因としては、当社製品への需要水準; グローバルな経済・業界動向; 地域的あるいはグローバルな健康被害の蔓延による影響; グローバルな貿易問題および貿易政策の変更; エレクトロニクス製品に対する消費者の需要; 半導体への需要; 技術や生産設備に対する取引先企業のニーズ; 新たな革新的テクノロジーの導入とテクノロジー移行のタイミング; 当社が新しい製品やテクノロジーを開発・提供・サポートする能力; 当社顧客ベースの集約傾

向;所得税法の改正;当社が既存市場を拡大してシェアを伸ばし新規市場を開拓する能力;既存ならびに新開発の製品に対する市場の受容性;当社が主要テクノロジーに関する知的財産権を取得ならびに保護する能力;当社が業務および戦略的イニシアティブの目的を達成し、リソースとコスト構造を事業環境に適合させ、主要社員を引き付けて意欲を高め定着させる能力;製品やセグメント間での営業費用や業績のばらつき、および当社が将来の業績・市況・取引先の要求・ビジネスニーズを正確に予測する能力;当社が証券取引委員会(SEC)に提出する書類(最新の Form 10-K および 8-K 報告書を含む)に記載しているその他のリスクや不確定要素などがあります。将来の見通しに関する記述はすべて本プレスリリース発表時点における経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来の見通しに関する記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズ(Nasdaq: AMAT)は、マテリアルズ エンジニアリングのソリューションを提供するリーダーとして、世界中のほぼ全ての半導体チップや先進ディスプレイの製造に寄与します。原子レベルのマテリアル制御を産業規模で実現する専門知識により、お客様が可能性を現実に変えるのを支援します。アプライド マテリアルズはイノベーションを通じて未来をひらく技術を可能にします。

詳しい情報はホームページ:<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは 2 月 12 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:中尾 均)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店のほか 15 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ
アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社 (Tel: 03-6812-6801)
ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com/ja>

APPLIED MATERIALS, INC.
連結要約損益計算書（未監査）

	3ヵ月期末日	
	2020年 1月26日	2019年 1月27日
<i>(単位：100万、1株当たりの部分を除く)</i>		
売上高	\$ 4,162	\$ 3,753
売上原価	2,304	2,088
売上総利益	1,858	1,665
営業費用：		
研究開発費及び技術費	552	516
販売費	135	131
一般管理費	129	110
営業費用合計	816	757
営業利益	1,042	908
支払利息	59	60
受取利息その他所得	22	40
税引前利益	1,005	888
法人所得税充当金	113	117
純利益	\$ 892	\$ 771
1株当たり利益：		
基本	\$ 0.97	\$ 0.81
希薄化後	\$ 0.96	\$ 0.80
期中平均株式数：		
基本	916	957
希薄化後	927	965

APPLIED MATERIALS, INC.
 連結要約貸借対照表（未監査）

(単位：100万)

	2020年 1月26日	2019年 10月27日
資産の部		
流動資産：		
現金及び現金同等物	\$ 3,424	\$ 3,129
短期投資	536	489
売掛金	2,679	2,533
棚卸資産	3,472	3,474
その他流動資産	658	581
流動資産合計	10,769	10,206
長期投資	1,713	1,703
有形固定資産	1,555	1,529
のれん	3,399	3,399
買収技術及びその他無形資産	142	156
繰延税金資産及びその他資産	2,189	2,031
資産合計	<u>\$ 19,767</u>	<u>\$ 19,024</u>
負債及び資本の部		
流動負債：		
1年以内に返済予定の長期負債	\$ 600	\$ 600
買掛金、未払費用	2,569	2,511
契約負債	1,400	1,336
流動負債合計	4,569	4,447
長期債務	4,714	4,713
未払法人税等	1,298	1,275
その他負債	526	375
負債合計	<u>11,107</u>	<u>10,810</u>
資本合計	<u>8,660</u>	<u>8,214</u>
負債及び資本合計	<u>\$ 19,767</u>	<u>\$ 19,024</u>

APPLIED MATERIALS, INC.
連結要約キャッシュフロー計算書（未監査）

(単位：100万)	3ヵ月期末日	
	2020年 1月26日	2019年 1月27日
営業活動によるキャッシュフロー：		
純利益	\$ 892	\$ 771
営業活動による取得現金と純利益との調整：		
減価償却費	94	88
株式ベース報酬	93	65
繰延税金	30	41
その他	15	1
営業資産・負債の増減	(137)	(132)
営業活動による取得現金	987	834
投資活動によるキャッシュフロー：		
資本支出	(102)	(133)
投資有価証券の売却及び満期償還による収入	368	464
有価証券の購入	(428)	(397)
投資活動による支払現金	(162)	(66)
財務活動によるキャッシュフロー：		
普通株式発行による収入	15	—
普通株式買い戻し	(200)	(750)
付与された株式報酬に対する源泉税支払額	(153)	(74)
株主配当支払額	(192)	(192)
財務活動による支払現金	(530)	(1,016)
現金及び現金同等物の増加（減少）額	295	(248)
現金及び現金同等物の期首残高	3,129	3,440
現金及び現金同等物の期末残高	\$ 3,424	\$ 3,192
補足的キャッシュフロー情報：		
法人税の現金支払額	\$ 82	\$ 34
法人税の現金還付額	\$ 1	\$ 8
利息の現金支払額	\$ 34	\$ 34

APPLIED MATERIALS, INC.
補足情報（未監査）

本社その他

(単位：100万)

	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期
未配賦売上高	\$ 19	\$ 16
未配賦売上原価	(115)	(74)
株式ベース報酬	(93)	(65)
合計	<u>\$ (189)</u>	<u>\$ (123)</u>

追加情報

	2020年度 第1四半期	2019年度 第1四半期
地域別の売上高（単位：100万）		
米国	441	450
全体比（%）	10 %	12 %
ヨーロッパ	153	296
全体比（%）	4 %	8 %
日本	351	651
全体比（%）	8 %	17 %
韓国	508	572
全体比（%）	12 %	15 %
台湾	1,365	656
全体比（%）	33 %	18 %
東南アジア	72	160
全体比（%）	2 %	4 %
中国	1,272	968
全体比（%）	31 %	26 %
<u>社員数（単位：千人）</u>		
正社員	22.3	21.2

APPLIED MATERIALS, INC.
GAAP と非 GAAP データの差異調整表 (未監査)

	3 ヶ月期末日	
	2020年 1月26日	2019年 1月27日
<i>(単位: 100 万、比率を除く)</i>		
<u>非 GAAP ベースの売上総利益</u>		
報告上の売上総利益、GAAP ベース	\$ 1,858	\$ 1,665
買取に関連する一部項目 ¹	9	10
非 GAAP ベースの売上総利益	<u>\$ 1,867</u>	<u>\$ 1,675</u>
非 GAAP ベースの売上総利益率	44.9 %	44.6 %
<u>非 GAAP ベースの営業利益</u>		
報告上の営業利益、GAAP ベース	\$ 1,042	\$ 908
買取に関連する一部項目 ¹	13	14
買収統合費用と取引費用	13	3
非 GAAP ベースの営業利益	<u>\$ 1,068</u>	<u>\$ 925</u>
非 GAAP ベースの営業利益率	25.7 %	24.6 %
<u>非 GAAP ベースの純利益</u>		
報告上の純利益、GAAP ベース	\$ 892	\$ 771
買取に関連する一部項目 ¹	13	14
買収統合費用と取引費用	13	3
戦略的投資の減損 (売却益)	2	(2)
戦略的投資による損失 (利益)	2	(10)
株式ベース報酬による法人所得税効果 ²	(33)	(5)
適用される米税法の改正による法人所得税効果 ³	—	(24)
グループ会社間で移転した無形資産の償却による法人所得税効果	21	(28)
過去の所得税申告その他税項目の解決	(1)	59
非 GAAP ベースの調整による法人所得税効果 ⁴	(5)	1
非 GAAP ベースの純利益	<u>\$ 904</u>	<u>\$ 779</u>

1 完了した買取に起因する増分費用。購入した無形資産の償却からなっています。

2 株式報酬に関連する GAAP ベースの税控除額は当該年度中、非 GAAP ベースで比例的に計上されます。

3 米税制による一回限りの移行税に関連する法人所得税充当金費用。

4 非 GAAP ベースの調整に関連した法人所得税充当金の調整を税引前所得に反映したものの。

APPLIED MATERIALS, INC.
GAAP と非 GAAP データの差異調整表 (未監査)

<u>(単位：100 万、1 株当たりの数字を除く)</u>	3 ヶ月期末日	
	2020 年 1 月 26 日	2019 年 1 月 27 日
<u>非 GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益</u>		
報告上の希薄化後 1 株当たり利益、GAAP ベース	\$ 0.96	\$ 0.80
買収に関連する一部項目	0.01	0.01
買収統合費用と取引費用	0.01	—
戦略的投資の減損 (売却益)	—	(0.01)
株式ベース報酬による法人所得税効果	(0.03)	—
適用される米税法の改正による法人所得税効果	—	(0.02)
グループ会社間で移転した無形資産の償却による法人所得税効果	0.03	(0.03)
過去の所得税申告その他税項目の解決	—	0.06
非 GAAP ベースの希薄化後 1 株当たり利益	\$ 0.98	\$ 0.81
希薄化後期中平均株式数	927	965

APPLIED MATERIALS, INC.
GAAP と非 GAAP データの差異調整表（未監査）

(単位：100 万、比率を除く)	3 ヶ月期末日	
	2020 年 1 月 26 日	2019 年 1 月 27 日
<u>半導体システムズ 非 GAAP ベースの営業利益</u>		
報告上の営業利益、GAAP ベース	\$ 915	\$ 631
買収に関連する一部項目 ¹	10	11
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 925	\$ 642
非 GAAP ベースの営業利益率	32.9 %	28.3 %
<u>AGS 非 GAAP ベースの営業利益</u>		
報告上の営業利益、GAAP ベース	\$ 278	\$ 285
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 278	\$ 285
非 GAAP ベースの営業利益率	27.9 %	29.6 %
<u>ディスプレイ・アジェイセントマーケット 非 GAAP ベースの営業利益</u>		
報告上の営業利益、GAAP ベース	\$ 38	\$ 115
買収に関連する一部項目 ¹	3	3
非 GAAP ベースの営業利益	\$ 41	\$ 118
非 GAAP ベースの営業利益率	12.3 %	23.3 %

¹ 完了した買収に起因する増分費用。購入した無形資産の償却からなっています。

注記：上に示したセグメント別の GAAP と非 GAAP データの差異調整では、本社その他の項目に計上されて連結営業利益に含まれる一部の売上高、原価、営業費用を除外しています。

GAAP と非 GAAP 実効税率の差異調整表 (未監査)

3 ヶ月期末日

(単位 : 100 万、比率を除く)

2020年1月26日

法人所得税充当金、GAAP ベース (a)	\$	113
株式ベース報酬による法人所得税効果		33
グループ会社間で移転した無形資産の償却による法人所得税効果		(21)
過去の所得税申告その他税項目の解決		1
非 GAAP ベースの調整による法人所得税効果		5
法人所得税充当金、非 GAAP ベース (b)	\$	131
税引前利益、GAAP ベース (c)	\$	1,005
買収に関連する一部項目		13
買収統合費用と取引費用		13
戦略的投資の減損 (売却益)		2
戦略的投資による損失 (利益)		2
税引前利益、非 GAAP ベース (d)	\$	1,035
実効税率、GAAP ベース (a/c)		11.2 %
実効税率、非 GAAP ベース (b/d)		12.7 %